

2008年10月03日

人間文化学科人間文化専攻共催公開講演会「比較古都論 一町のなりたち、人の往来」 開催のご案内

人間文化学科・人間文化専攻主催

公開講演会 「比較古都論 一町のなりたち、人の往来」開催のお知らせ



第四回の公開講演会「比較古都論 一町のなりたち、人の往来」を開催いたします。

どうぞご参加ください

● 日時

2008年11月15日(土) 13:00~16:00

● 会場

京都ノートルダム女子大学 マリア館 ガイスラーホール

● 講演

講演1

「やつす都市 一谷崎潤一郎の関東と関西」

本学准教授 長沼光彦

講演2

「ヨーロッパ中世初期の明晰な世界」

本学非常勤講師 アンドレ・アンジェイ

入場は無料です。予約も必要ありません。

● お問い合わせ

教務学事課 075-706-3661

この講演会は、「古都京都」と「世界各国の古都」とをさまざまな角度から比較検討して研究しようとする「比較古都論」を、本学科・専攻カリキュラムの柱のひとつに据えることを目標に取り組んできたもので、これで4回目となります。こうした試みの成果として、「比較古都論」の名称を持つ学科科目も今年度から出発した新カリキュラムに盛り込むことができました。

今年度の講演会では、本学の非常勤講師アンドレ・アンジェイが、ヨーロッパ中世における都市の成り立ちにはどのような思想的背景があるのか、具体的な事例を紹介しながらお話しします。また日本近代文学を専門とする本学准教授長沼光彦は、日常生活に芸術的なイマジネーションをもたらす「やつし」をテーマに作品を描いてきた谷崎潤一郎をとりあげ、「秘密」と「卍」を中心に、関東と関西の都市が谷崎に与えた「想像力」についてお話しします。どうぞご期待ください。